

日時：2012年2月23日（木）

16：00～17：30

会場：保健学科第1講義室

（事前申込み不要。直接お越しください）

近年、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害(ADHD)、学習障害(LD)などの発達障害をもつ大学生が大きな注目を集めており、コミュニケーションの障害、社会性の障害、注意力の障害などのために、対人関係における摩擦、授業の理解や共同作業の困難、レポート作成・提出の困難、サークルにおける対人関係でのトラブル等、大学生活への適応上で様々な問題が生じると言われています。発達障害学生に必要な教育環境を保障することや、トラブルに直面した学生に対して適切な支援を行うことは、大学職員にとっての最重要課題のひとつとなっています。

今回、発達障害に関する正しい知識や理解を身につける目的で、保健センターでこの分野に取り組んで来られた3人の専門家の先生から、発達障害についてのご説明、大学としての対応、事例などをお話し頂きます。奮ってご参加頂きますようお願い致します。

講演：

「阪大のメンタルヘルスと発達障害」

井上洋一（保健センター教授）

「発達障害学生への大学の取り組み」

石金直美（保健センター准教授）

「発達障害の事例」

武中美佳子（保健センター特任研究員）